

伊保庄園

◆介護ロボット・介護機器等の導入

介護に携わる職員が心身共に健康であり、丁寧で安心感のあるサービスを提供できるよう、介護ロボット及び介護機器等を導入することにより業務の改善を図りました。す。

<5年後の目指すべき方向>

- | |
|---|
| ○ 介護ロボット及び介護機器等を活用することで、職員の負担を軽減するとともに、丁寧で安心感のあるサービスを提供します。 |
|---|

《令和2年度の具体的な取組実績》

取組目標	取組の内容
介護ロボット及び介護機器等の導入	<ul style="list-style-type: none">・前年度導入した介護ロボット(リショナー)の使用状況について、「介護機器等導入検討委員会」において検証しました。「リショナー」を導入したことで、利用者の表皮剥離や内出血が減少したり、介護員1名での離床が可能になり、介護の負担を軽減することができました。・前年度、視察等の取組で得た介護ロボット等に関する情報を取りまとめ、「介護機器等導入検討委員会」に提案し、新たな機器等の導入に向けた検討を行い、導入に至りました。(ルームシャンプー)・引き続き、福祉機器展の視察を行う予定でしたが、コロナ禍で視察ができませんでした。導入検討に値する機器についてのデモ機器の試用についても試用できませんでした。

【数値目標及び実績】

項目	目標数値（腰痛検査受診者に占める割合）	
	令和5年度	令和2年度の実績
腰痛検査結果が要観察以上の職員の割合	20%	18.8%